

「山また山」の――

その長い坂道を上らなければ
学び舎にはたどり着けない。

それを毎日続けなければ
志に手は届かない。

人生もおそらく、そういうものだ。

この学び舎で日々を過ごすうち

長高生はおのずと悟る。

その先に続くであろう険しい道を

たゆまずに進む力を自らの中に養う。

長野高校創立120年

数多くの偉大な先輩たちも同じように学び

「山また山」の人生を歩んできたのだ。



長野県長野高等学校 創立120周年

ご挨拶

(一社)長野高等学校金鶏会会長
創立120周年記念事業実行委員長 加藤 久雄



台風19号により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。今年度、長野高等学校は創立120周年を迎えることになりました。校名・校舎は変わっても、輝かしい歴史と良き伝統を継承し、「至誠一貫」「質実剛健」「和衷協同」の校訓と自主自律の精神が、明治の開校以来、今も脈々と引き継がれていることは、数多の同窓生の国内外で活躍されてきた姿が物語っています。

しかし、時代は移り、社会が大きく変化する中であって、120年にわたる母校の歴史を顧みて、私たちは過去を学び、振り返ることにより、明日への展望を見出さなければなりません。

記念式典・祝賀会については、被災状況に鑑みまして開催を見送りましたが、記念事業として、全教室へのエアコンの設置や太陽光発電による奨学金制度の創設、更には文部科学省の指定を受けて取り組んでいるNGP(長野グローバルプロジェクト)を支援するなど未来の長野、日本を担う在校生のための教育環境の整備を行うことができました。

在校生並びに母校のために、ご尽力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。創立120周年を機に、今後も長野県を牽引する学校として発展するよう、同窓生をはじめ関係の皆様のご支援とご協力をお願いするとともに、ご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

創立120周年を迎えて

学校長 宮本 隆



台風19号により被害を受けた皆様にお見舞い申し上げます。この度、本校が創立120周年を迎えることができましたことは、地元の皆様をはじめ県民の皆様のご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

本校は「至誠一貫」「質実剛健」「和衷協同」の校訓のもと、国内外で活躍する有為なる人材の育成に努めてまいりました。最近では、平成26年に文部科学省のSGH(スーパーグローバルハイスクール)の指定を受けた全国56校の1校として、グローバルリーダーに求められる思考力及び発信力の育成に有効な教育の開発・実践を進め、全国の高等学校の先駆として学びを改革してまいりました。

これからも公立の伝統校としての役割を十分果たしながら、高い志を持つ生徒の育成に努めてまいりたいと考えておりますので、皆様には引き続きご理解とご支援賜りますようお願い申し上げます。

創立120周年を祝して

PTA会長 石坂 真



台風19号の被害にあわれた皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。長野高等学校が本年創立120周年を迎え、またことを心よりお祝い申し上げます。

人口減少やAI等の技術革新が進むこれからの社会は、私たち保護者が子供たちに対し経験や知識から助言することさえままならぬ状況となりつつあります。このような中、時代に先駆けて平成26年に始まったSGHの取り組みは、自ら「問い、考え、解を求める」本来の学びの姿、探究の場として着実に成果を挙げ、さらに今年度からはNGPとして継続されております。子供たちが未来を生き抜く力を育てるこの取り組みを支えてくださる校長先生以下諸先生方のご尽力に改めて感謝申し上げます。また、今回の記念事業の一環として特別教室等にもエアコンの設置が叶いました。恵まれた環境の下で子供たちが学ばせていただくことに感謝するとともに、事業にご協力いただいた同窓会員の皆様、ご関係の皆様にはPTAを代表して厚くお礼申し上げます。

古き良き伝統と新進の取り組みとが融合し、長野高等学校が次なる時代に向けて益々発展いたしますことを祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

誇りを胸に新たな道へ

全日制生徒会長 薛 孝豊



このたび、台風19号の被害にあわれた皆様に、お見舞い申し上げます。輝く伝統を継承して、長野高等学校は今年創立120周年を迎えることになりました。長野高校生の一員として大変嬉しく思います。

本校は県内でも有数の歴史を持ち、「至誠一貫」「質実剛健」「和衷協同」という校訓や、培われてきた伝統、さらに在籍する生徒たちの豊かな個性により形作られた校風のもと、社会のさまざまな面で活躍する多数の卒業生を輩出してまいりました。現在でも私たちは「文武両道」を合言葉に、日々の学習やクラブ活動に精一杯取り組み、充実した高校生活を送っています。創立120周年にあたり、全教室へのエアコンの設置、校内奨学金の開設などが行われました。本校を長年にわたり支えてくださった多くの諸先生方、あたたかく見守り続けていただいた卒業生の皆さま、本校のためにご尽力いただいた全ての方々に改めて心より感謝申し上げます。

これからも、長野高校生の取り組みが、一日一日と積み重なり、新たな歴史を刻んでいくことを祈念しています。今後とも長野高校をよろしくお願いいたします。

先人の方々への感謝とともに

定時制生徒会長 小林 優太



台風19号の被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。私たちの学校、長野県長野高等学校は明治32年長野県立長野中学校として設立され、明治、大正、昭和、平成を経て令和を迎えるとともに本年120周年を迎えます。

この120年の間には戦争や自然災害による大変な困難、そして高度経済成長等による日本の変革等様々な歴史が刻まれてきました。それらの歴史の上に立ち、今この節目の年に生徒として本校に在籍できることを大変嬉しく感じています。

120年の学校の歴史を守り育んでくださった全ての方々にお礼申し上げます。

これからの時代はAIや機械が発達し、人間の仕事の多くをそれらが担うことになると言われています。その時代の中で人でなければできない営みを見つけられるよう、先人の方々が作り築いてくださったこの長野高校で多くのことを学び、そしてさらなる歴史を築き次の世代に繋げられるよう努力していきたいと思えます。

学校概要

The 120th Anniversary

長野県長野高等学校

〒380-8515 長野市上松1丁目16-12 / TEL.026-234-1215 / FAX.026-234-3500

◆施設

普通教室(31)、特別教室(15)、準備室(9)、体育館、図書室、保健室、合宿所、格技室、弓道場、グラウンド、テニスコート、プール、雨天練習場、自転車置場、浅川グラウンド

◆生徒数(2019年4月現在)

・全日制 / 843名(男459名、女384名) ・定時制 / 44名(男27名、女17名)

◆教育方針

- 一、個人の尊厳を重んじ、真理と平和を愛し、国家社会の有為なる人材の育成を期する。
- 一、高邁にして、明朗闊達、至誠一貫、質実剛健、和衷協同の精神を涵養し、身体の鍛錬と相まって心身の調和的な発達をはかる。
- 一、生徒の個性を豊かに伸ばし、各々その目的を達成させるために適切な指導をする。

一般社団法人 長野高等学校金鶏会(同窓会)

TEL.026-235-3822 / FAX.026-237-3822



長高 沿革

The 120th
Anniversary

校地の変遷

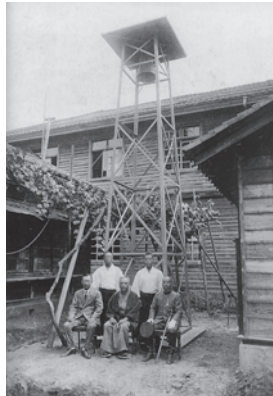
1899（明治32）年の開校時、校舎は西長野の加茂神社北側（現 信州大学教育学部グラウンド付近）にあった。それ以前の「上水内中学校」、「長野県中学校」時代は松本へ移転した旧長野県師範学校（現在の長野市立図書館付近）の校舎を使用した。長野中学創立40年を迎えた1939（昭和14）年、現在地の上松に新築移転。その当時の校舎の一部が、現在の金鶏会館だ。



神聖なるピアノ



1901（明治34）年 第1回卒業式



にっしんしょう

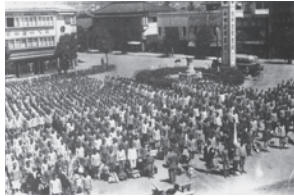
日新鐘に込めた願い

金鶏会館の東に立つ「日新鐘」は、当時の教員が命名。「日々新しい知識を身に付け、成長を止めない者であれ」といった願いが込められている。戦時中には空襲警報と間違ふ恐れがあると使用が中止され、鐘樓の鉄骨も供出された。戦後、鐘の音は復活し鐘樓も中庭に再建。現校舎の建設に伴って今の姿になった。

旧日新鐘樓の完成



上松に新校舎竣工



1944（昭和19）年 豊和重工業への勤労動員の壮行式

応援歌から校歌へ

現在の校歌「山また山」が作られたのは1921（大正10）年。戦前は「金鶏の光」という題の応援歌だった。作詞の柴山武矩は当時の英語教員。作曲の近藤義次は本校卒業生。戦前は独自に制定した校歌はなく、唱歌「大和心」や「海ゆかば」を運動会などの際に歌っていたという。

1883（明治16）年 上水内中学校を長野町（現長野市立図書館付近）に設立

1884（明治17）年 上水内中学校を廃し、長野県中学校を設立。本校を長野町に、上田・松本・飯田に3支校設置

1886（明治19）年 1府県1中学の制となり、本校・支校を併せ松本に移し、長野県尋常中学校と改称

1893（明治26）年 1府県1中学の制廃止により、長野・上田・飯田に支校設立

西長野町（加茂神社北側）に長野支校新校舎竣工

1899（明治32）年 長野県立長野中学校として独立（修業年限5年）。この年を創立元年とする。全校生徒数377名、9学級編成、職員21名。初代校長に三好愛吉を迎える。帽子の徽章を「金鶏の下に中の字を付する」ことに定められる。またこの年、三好校長の発案で一冬、燃料をたかずに過ごし、私製ピアノ「プレイエル」を購入。のちに「神聖なるピアノ」と呼ばれ現在まで引き継がれている

第1回卒業式、初めて卒業生50名を出す

長野中学校同窓会発足

1901（明治34）年 県令第38号によって長野県長野中学校と改称

1920（大正9）年 鳴尾球場における第7回全国中等学校優勝野球大会に出場。一回戦で豊国中学（福岡）と対戦。延長12回9対10で惜敗

1923（大正12）年 日新鐘ができる 第7代校長江口俊博の時、長中23回卒業記念として贈られる 制帽に二条の白線をつける

1931（昭和6）年 1899年以来毎年発行の校友会誌を「金鶏」と改名し、第1号発行

1935（昭和10）年 明治神宮大会（現在のインターハイ）に柔道部・庭球部・排球部が出場、柔道部は見事に優勝し、全国制覇を成し遂げる

校訓「至誠尽忠」・「質実剛健」・「和衷協同」を定める（至誠尽忠は戦後、至誠一貫に改定）

1939（昭和14）年 上松の現校地に新校舎竣工、生徒は夏休みを返上し、西長野から上松の新校舎へ移転の荷物を運ぶ

創立40周年記念式および新校舎落成祝賀式挙行

飯綱山麓学有林設置

1940（昭和15）年 名古屋の豊和重工業株式会社へ通年勤労動員（5年生）

日本無線長野工場へ通年勤労動員（4年生）

1940（昭和15）年 第45回卒業式、5年生（45回A）は、動員先の名古屋の工場近くの新川国民学校で卒業式を行う

1941（昭和16）年 4年生は繰り上げ卒業となる（45回B）本校講堂で卒業式

4月より1年間授業停止

1942（昭和17）年 学校に工場を誘致、体操場・柔剣道場に工作機械設置

奉安殿撤去、「民主主義の時間」設置

1946（昭和21）年 応援歌として大正時代に作られた「金鶏の光」を「山また山」として校歌とする

1947（昭和22）年 学制改革により長野県長野北高等学校を設置、全日制普通課程（3年）・定時制普通課程（4年）を設ける 週5日制 校章改正・生徒会発足

「長野北高新聞」創刊（のち校名変更に伴い「長高新聞」に改名）

創立50周年記念式挙行 日新鐘樓の再建設

1949（昭和24）年 北高第1回卒業式

長野市立高等学校の普通課程を本校に統合（北高731名、市高449名、新入生147名、30学級となる）

校章の改正（現在のものとなる）

PTAの発足

女子生徒2名が初めて入学

1950（昭和25）年 図書館・保健室棟新築落成

1951（昭和26）年 校友会誌を改め、生徒会誌「金鶏」第1号発行

1953（昭和28）年 創立55周年記念事業として同窓会が水泳プールを寄贈・落成

1954（昭和29）年 4月より、週6日制となる

1956（昭和31）年 4月より、長野県長野高等学校と改称。「北高祭」は「金鶏祭」と改称

1957（昭和32）年 第44回全国高等学校野球選手権大会で1回戦、慶応高校（神奈川）と対戦 0対3で惜敗

1962（昭和37）年 旧長野中学校正門柱を校地南西の道路入口に移転 格技室・金鶏会館新築（1階食堂、2階武道場）、創立70周年記念式典挙行

1965（昭和40）年 国際反戦デーに授業ボイコット、校長室封鎖 服装の自由化

1969（昭和44）年 学校完全無人化、耐火ブロック倉庫新築、防犯灯、戸締まりシャッター取り付け

1973（昭和48）年 12通学区制が敷かれ、本校は第3通学区となる

1974（昭和49）年 同窓会、金鶏賞を創設、成果を挙げた各班に10万円の賞

1977（昭和52）年 2期制導入、金鶏祭は初めて7月開催となる

1978（昭和53）年 創立80周年記念式典、部室棟・体育館を新築

1979（昭和54）年 全日制女子入学者が初めて100名を超える

1980（昭和55）年 同窓会会報「日新鐘」第1号発行

1981（昭和56）年 定時制校舎新築・合宿所棟新築

1982（昭和57）年 第54回選抜高等学校野球大会に初出場、二松学舎大付（東京）に0対3で惜敗

1985（昭和60）年 第57回選抜高等学校野球大会に出場、明野（三重）に2対4で惜敗

1991（平成3）年 校舎改築のためのグラウンド埋蔵文化財調査始まる

1992（平成4）年 校舎全面改築工事起工 学校週5日制導入

1994（平成6）年 新校舎の竣工記念式典挙行、グラウンド・テニスコート・浅川総合グラウンド完成、65分授業開始

1995（平成7）年 校内LANの構築、旧南校舎に自習室設置

初的女子生徒会長就任

1997（平成9）年 創立100周年記念関連行事挙行

1998（平成10）年 旧南校舎を修復し、社団法人金鶏会へ譲渡

1999（平成11）年 金鶏会館（旧南校舎）が国の登録有形文化財に指定される

2003（平成15）年 創立110周年記念式典 3年生の教室にエアコン設置

2009（平成21）年 金鶏会館に池田満寿夫ギャラリー開設

2012（平成24）年 文部科学省スーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定される

2014（平成26）年 文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」に指定される

2019（平成31）年 長野グローバルプロジェクト（NGP）として推進

2019（令和元）年 創立120周年記念式典を予定するも、台風19号により開催中止 全教室にエアコン設置、屋根に太陽光パネル設置し、売電収益で奨学金創設（同窓会）

「金鶏」の校章

現在の校章は新制高校への移行に伴って、当時の生徒が主体となって決められたが、金鶏（金色のトビ）を校章に決めたのは、1900（明治33）年。長中時代と現在では、トビの顔の向きが違う。

金鶏が校章として受け継がれていることに、今の生徒たちがどんな思いを持っているかは、別ページの「長高新聞 特別号」の「金鶏調」参照を。

校旗



2本線の学帽



旧校舎の正面玄関



同窓会会報「日新鐘」第1号



旧校舎での金鶏祭



1982（昭和57）年 第54回選抜高等学校野球大会



校長室に展示している 佐久間象山像

美術館のある学校



版画家で芥川賞作家、映画監督。マルチな才能を発揮した池田満寿夫さん（1934～97年、52年長野北高卒）の作品約50点を展示する「池田満寿夫ギャラリー」は、金鶏会館1階にある。校舎の趣を生かしたギャラリーの設計や作品の収集には卒業生が尽力。校内に設けられた美術館は、長野高校の特徴の一つにもなった。



現在の日新鐘

History of Nagano High School



長野県長野高等学校 創立120周年

Nagano High School The 120th Anniversary

長野高等学校校歌

山また山

柴山武矩 作詞
近藤義次 作曲

一、山また山の はるかたに

そびゆる白馬の 雪の峰

真澄める姿ぞ われらが命

起てよ いざこぞりて

われに 金鷄の光あり

二、草木もなゆる 真夏日に

うずまき流るる 千曲川

とまらぬ力ぞ われらが命

起てよ いざこぞりて

われに 金鷄の光あり

三、仰げる空の 極みなく

ふみ行く大地の はてしなき

ゆたけき心ぞ われらが頼み

起てよ いざこぞりて

われに 金鷄の光あり

記念事業

The 120th Anniversary

長野高校放送部制作

長野高等学校創立120周年
記念ムービー ～歴史と現在～

公開中



QRコードは、長野高等学校
ホームページにリンクされて
います。トップページのバナー
をクリックしご覧ください。

長野県長野高等学校創立120周年 記念事業実行委員会は、以下の事業に取り組みました。

1. 記念式典

記念講演会（池上彰氏）・記念演奏会（喜多郎氏と本校吹奏楽班・管弦楽班・合唱班）・記念祝賀会の開催を2019年10月19日（土）に予定しましたが、台風19号の災禍に鑑み中止いたしました。記念事業実行委員会としてはこれに代えて、長野県に被災者義援金100万円を寄贈いたします。

2. エアコン設置

校舎の管理室11室、特別教室9室にエアコンを設置しました。これにより県の事業と合わせて、すべての教室と職員室にエアコンが整備されました。



エアコン設置された
特別教室
(理科講義室)

設置された
太陽光パネル

3. 太陽光奨学金の創設

太陽光パネルを設置し、太陽光発電による売電収入を固定価格買取制度により20年間にわたって確保します。経費を除いたその全額を、完全給付型の奨学金として活用します。



4. NGP（長野グローバルプロジェクト）への支援

文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定を受け、長野高校が取り組んでいるNGP事業の活動費を支援します。

5. CD「金鷄健児愛唱歌集」の製作

合唱班OBによる校歌・応援歌など23曲が収録されています。創立100周年時に作成したものを複製しました。



6. 記念品として、オリジナルクリアファイル2種作成

